

▼ターゼナカプセル [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】タラゾパリブ トシル酸塩 Talazoparib Tosilate 【分類】抗悪性腫瘍剤 [PARP 阻害剤]

【単位】▼0.1mg・▼0.25mg・▼1mg/Cap

【常用量】

■前立腺癌：0.5mg/日（適宜減量） [エンザルタミドと併用]

■乳癌：1mg/日（適宜減量）

【用法】1日1回

【透析患者への投与方法】投与を避け、使用する場合は慎重に観察（1）

【保存期 CKD 患者への投与方法】

■前立腺癌：eGFR 30 以上 60 未満：開始用量 0.35mg/日

■乳癌：eGFR 30 以上 60 未満：開始用量 0.75mg/日

血中濃度上昇のおそれがあり、eGFR 30 以上 60 未満：減量、eGFR 30 未満：投与を避け、使用する場合は慎重に観察（1）

【その他の報告】中等度腎障害や強力な P-gp 阻害剤併用下では 0.75mg/日（Yu Y, et al: J Clin Pharmacol 2020 PMID: 31489639）

固形癌に対して eGFR 30-59：0.75mg/日、eGFR 15-29：0.5mg/日（Durairaj C, et al: Clin Pharmacokinet 2021 PMID: 33686631）

【特徴】PARP (Poly(ADP-ribose) polymerase) inhibitor. ヒト PARP-1 及び PARP-2 を阻害. BRCA 遺伝子変異陽性の乳癌もしくは前立腺癌治療に適用.

【主な副作用・毒性】骨髄抑制, 間質性肺炎, 血栓塞栓症, 脱毛, 消化器症状, 疲労, 無力症, 出血, 高血糖, ビタミン B12 欠乏など

【安全性に関する情報】QT 延長に関与しない（Hoffman J, et al: Anticancer Drugs 2019 PMID: 30875341）

【吸収】食事の影響なし（Yu Y, et al: J Clin Pharmacol 2020 PMID: 31489639）

【F】不明 [55%以上と推定]（1）

【tmax】1~2hr（1）1.9hr（Luo Y, et al: Invest New Drugs 2023 PMID: 37171721）

【代謝】ほとんど代謝されない（1）

【排泄】尿中未変化体排泄率 54.6%, 糞便中に未変化体として 13.6%回収 [経口, 504hr まで]（1, Yu Y, et al: J Clin Pharmacol 2019 PMID: 30964553）尿中回収率 68.7%, 糞便中回収率 19.7%（1）

P-gp, BCRP の基質（1）

【CL/F】6.45L/hr（Zhao D, et al: Drug Des Devel Ther 2022 PMID: 36405648）

【t1/2】51hr（1）90±58hr（Zhao D, et al: Drug Des Devel Ther 2022 PMID: 36405648）67hr（Luo Y, et al: Invest New Drugs 2023 PMID: 37171721）

【蛋白結合率】74%（1）

【Vd】Vdss/F=420L/body（Zhao D, et al: Drug Des Devel Ther 2022 PMID: 36405648）

【MW】552.55

【透析性】低いと思われる（5）

【O/W 係数】

【薬物動態】PK/PD 解析より初期量 1mg/日推奨（Yu Y, et al: J Clin Pharmacol 2020 PMID: 32468579）

血球減少（貧血, 好中球減少）に関する PK/PD 解析（Elmeliegy M, et al: J Clin Pharmacol 2020 PMID: 32468645）

【相互作用】P-gp 阻害剤併用による血中濃度上昇のおそれ（1）リファンピシン併用でも AUC は増大しない（1）トランスポーター関連の相互作用の総説（Zhao D, et al: Oncol Lett 2023 PMID: 36936025）強力な P-gp 阻害薬との併用が避けられない場合は減量（Elmeliegy M, et al: Br J Clin Pharmacol 2020 PMID: 31770456）

【肝障害患者への投与方法】通常用量適用可（Guo C, et al: Br J Clin Pharmacol 2022 PMID: 35236002）

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20240717

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。